

# 21年3月期上半期業績総括

**代表取締役  
社長執行役員 最高執行責任者  
谷原 徹**

2020年10月29日

(単位：億円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率
売上高	1,872	<b>1,897</b>	24	1.3%
営業利益	204	<b>212</b>	8	4.0%
親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	144	<b>148</b>	3	2.5%

### 外部動向

- 感染拡大の影響を受け、サプライチェーンの混迷等により経済活動が鈍化、継続。
- 企業の投資に対する姿勢に跛行性が見られる状況。
- 顧客企業においてもリモートワークを主体とした非対面・非接触の動きが加速。

### 第1四半期

- 緊急事態宣言解除後、執行や判断に遅れを生じていた投資計画が実行フェーズへ。
- リモートワーク等場所を選ばない、新しい働き方が常態化の傾向にあり、関連する需要増加。特に顧客接点領域の強化には注力。
- 安心・安全な分散運用によるITサービスの提供【事業革新】、デジタル技術を活用した高度化・利便性の実現【DX事業化】が進展。
- 感染拡大第2波の懸念等から予断を許さぬ環境の中、投資動向の不透明感は継続。

### 現在

- ニューノーマルを模索する中、投資意欲は高まっているものの、顧客が意思決定に至るまでに時間を要している。
- リモート化やデジタル化の需要、顧客接点領域の強化関連の需要は継続。
- 中長期的には、安心・安全な分散運用によるITサービスの提供【事業革新】、デジタル技術を活用した高度化・利便性の実現【DX事業化】が進展。
- 感染の終息が未だ見えない状況から予断を許さぬ環境は変わらず、投資動向の不透明感は継続。

### SCSKにおける対応

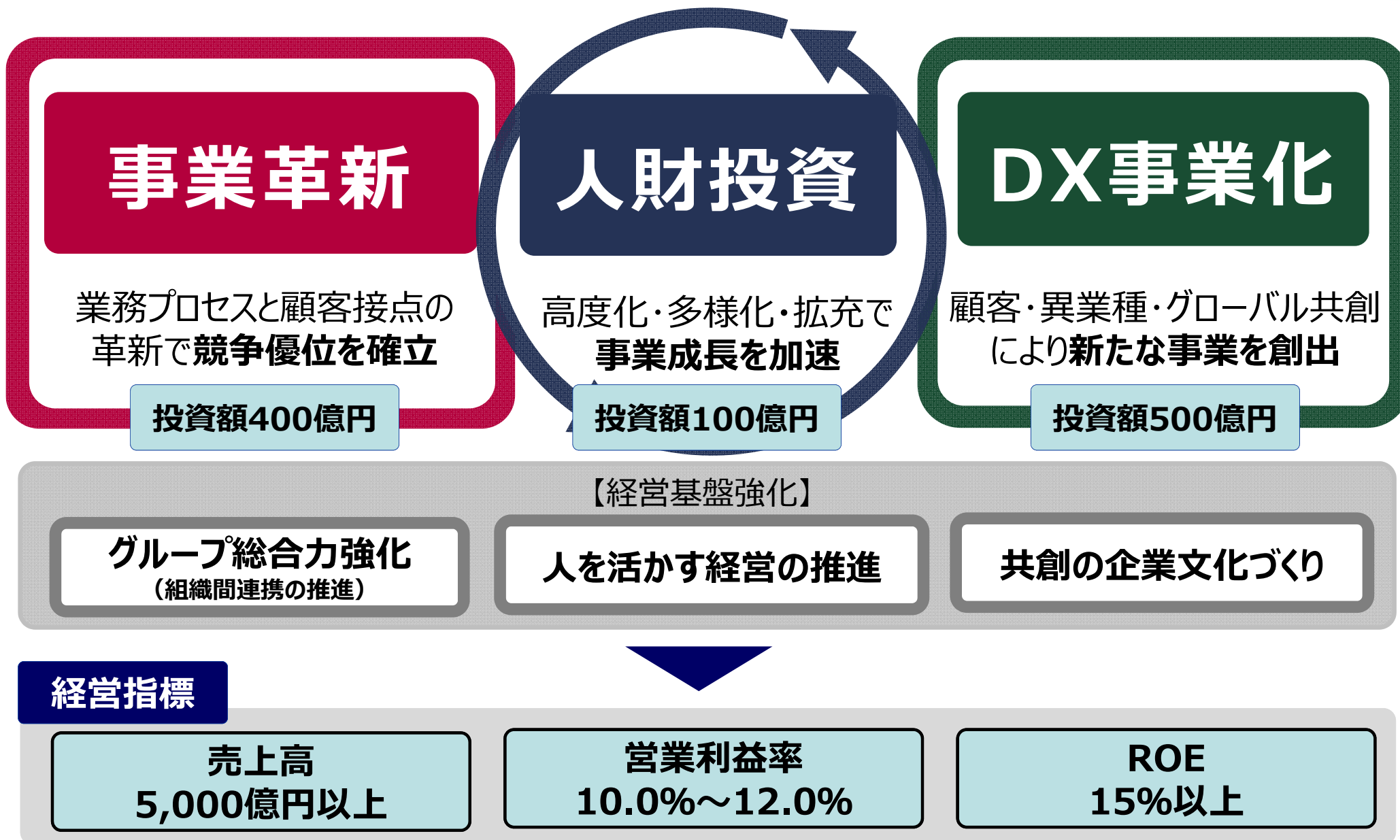
- 3密を避ける対策(リモートワーク・時差出勤等)を推進し、オフィス稼働率50%以下を維持
- 通勤手当の廃止 → リモートワーク推進手当の拡充
- 非対面営業(ウェビナー・Web起点によるリード顧客との接点)強化、バーチャルブースの特設等

# 21年3月期上半期決算 通期連結業績予想

期初予想から変更無し

	20年3月期 (実績)	21年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	3,852	3,800	△52	△1.4%
営業利益	400	410	9	2.4%
親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	287	290	2	0.8%

## ■ 3つの基本戦略と経営基盤強化により、グローバルベースで事業を拡大



# 夢ある未来を、共に創る

お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、  
夢ある未来を拓きます。

## < 免責事項 >

- 本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。